

群馬県が実施している自然環境調査について

群馬県自然環境課

1. 群馬県が実施している自然環境調査

群馬県では、群馬県自然環境保全条例第5条「基礎調査の実施」に基づき、地形、地質、植生及び野生動物に関する基礎調査を実施しています（下表参照）。

代表的なものとして、昭和49年度の第1回調査から現在まで継続して実施している「良好な自然環境を有する地域学術調査」があり、同条例第12条「指定」に基づき指定した「群馬県自然環境保全地域」を中心に、県内各地における自然環境の状況を調査しており、結果については、調査や実施年度毎に報告書にとりまとめて公表しています。

これまでの調査実績と報告書

調査及び報告書名	発行年
良好な自然環境を有する地域学術調査報告書Ⅰ～ⅩⅩⅩⅦ	1975～2011
奥利根地域学術調査報告書Ⅰ～Ⅲ	1976～1978
続奥利根地域学術調査報告書	1979
奥利根地域学術調査報告書（最終版）	1980
奥多野地域学術調査報告書Ⅰ～Ⅲ	1981～1983
湯桧曾川源流地域学術調査報告書	1985
烏川源流地域学術調査報告書Ⅰ，Ⅱ	1986～1987
赤谷川源流地域学術調査報告書Ⅰ，Ⅱ	1988～1989
至仏山・笠ヶ岳西面地域学術調査報告書	1990
谷川連峰学術調査報告書	1992
景鶴山学術調査報告書	1993
第2次奥利根地域学術調査報告書	2002
谷津田（西毛地域）学術調査報告書	2002
大峰沼・古沼学術調査報告書	2003

2 調査結果報告書の公表と閲覧場所

県内の公立図書館や大学、高等学校の図書館で閲覧していただけます。



また、近年行った調査の報告書については、群馬県立自然史博物館のホームページで閲覧できるよう準備を進めています（2014年3月開始予定）。

写真：上段左より「良好な自然環境を有する地域学術調査報告書（ⅩⅩⅩⅤ～ⅩⅩⅩⅦ）」

下段左より「奥利根地域学術調査報告書」、「奥多野地域学術調査報告書（Ⅰ）」、「湯桧曾川源流地域学術調査報告書」、「景鶴山学術調査報告書」

※調査結果報告書は、販売しておりません。

3 調査体制

群馬県では、これらの学術調査を「群馬県自然環境調査研究会（会長：斎藤晋 群馬県立女子大学名誉教授）」に委託して実施しています。

群馬県自然環境調査研究会は、群馬県が実施する自然環境に関する学術調査に参画することを目的に、県内の大学教授や高等学校の教諭を中心に設立された団体で、植物分野15名、動物分野36名、地形・地質分野11名の計62名の学識経験者で構成されています（H24.4.14現在）。

群馬県自然環境調査研究会では、先述の調査のほか、「群馬県の貴重な自然」の編纂、「群馬県レッドデータブック」の作成と改訂に係る調査や評価、「群馬県外来生物調査報告書」の作成等を手掛けてきました。



写真：群馬県自然環境調査研究会による
学術調査の様子



～ 野生動植物や地形地質を調査・研究されている皆様へ ～

現在、自然保護を目的とした学術調査や情報交換に御協力いただける学識経験者が不足しており、御協力いただける方を探しています。

詳しくは、下記までお問い合わせ下さい。

4 問い合わせ

群馬県環境森林部自然環境課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

電話：027-226-2872 FAX：027-243-7702

Eメール：kanshizen@pref.gunma.lg.jp